

平成 30 (2018)年度 学生による授業評価アンケートの分析

平成 31 年 2 月 27 日

IR センター

平成 30 (2018) 年度前期の学生による授業評価アンケートは、7 月上旬の 1 週間、前年度と同様に原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施講義科目は 353 科目であり、学生による平均の回答率は 53.2%であった。このほかに体育実技科目 5 科目についても実施された。講義科目の結果は、授業の進め方についての 10 項目では、全ての項目で約 75%以上の学生が適切である(そう思う、どちらかというと思う)と回答した。一方、学生の行動・理解についての 7 項目では、積極的な受講態度と予習復習について 60%以下の学生が肯定的な回答で、もっと勉強したいかが 70%を下回っていた。その他の項目では 70%以上が適切な行動・理解を示す回答であった (Figure 1)。今後、学生の積極的、自主的な受講態度、予習復習についての指導を行うことが望まれる。

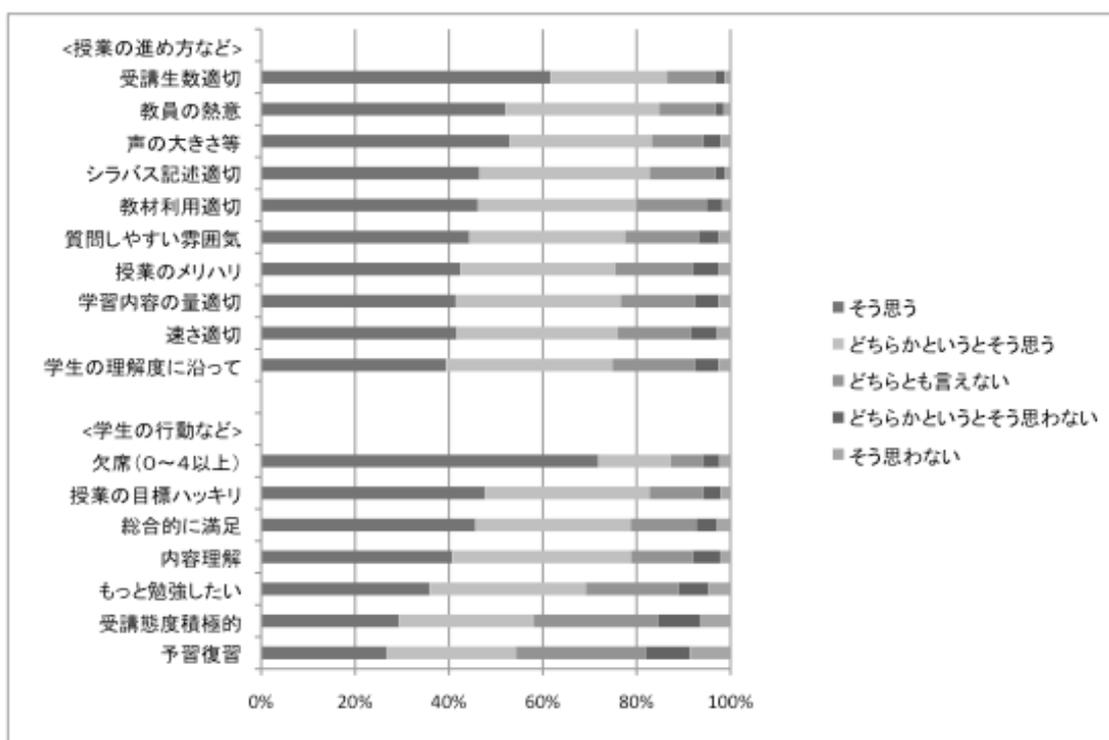


Figure 1. 平成 30 (2018) 年度前期講義科目における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数。欠席は、左から 0、1、2、3、4 回以上を示す。

後期の学生による授業評価アンケートは、12月10日から14日の5日間、前年度と同様に原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施講義科目は379科目であり、学生による平均の回答率は54.2%であった。このほかに体育実技科目8科目についても実施された。

前期と同様に、講義科目の結果は、授業の進め方についての10項目では、全ての項目で75%以上の学生が適切である（そう思う、どちらかというと思う）と回答した。一方、学生の行動・理解についての7項目では、積極的な受講態度と予習復習について60%程度の学生が肯定的な回答であったが、その他の項目では70%以上が適切な行動・理解を示す回答であった（Figure 2）。前期の結果と合わせて、今後、学生の積極的な受講態度、予習復習の実行についての指導を行うことが望まれる。

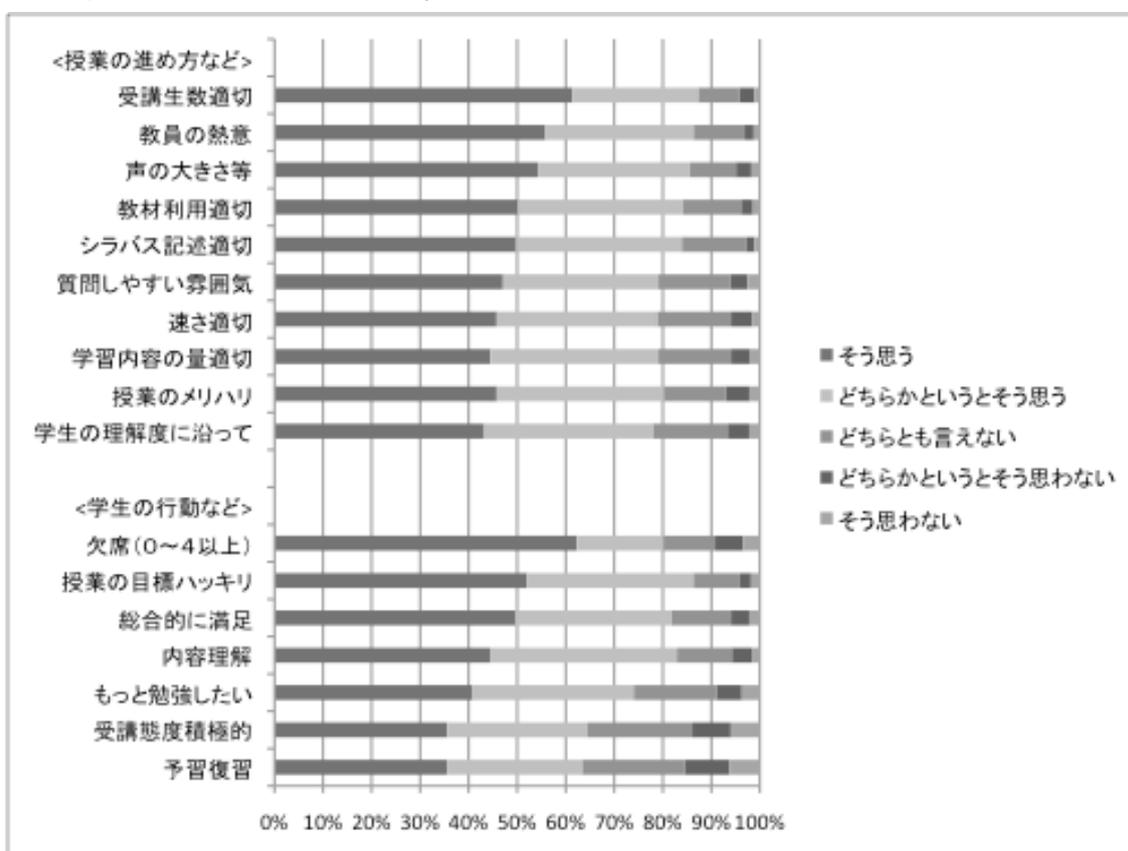


Figure 2. 平成 30 (2018) 年度後期講義科目における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数。欠席は、左から 0、1、2、3、4 回以上を示す。